

NUTAHARA Rally Team 参戦レポート

【大会概要】日程: 2022年6月10日(金)~6月12日(日)

主催:マツダスポーツカークラブ(MSCC)、上州オートクラブ(JAC)、NPO法人 M.O.S.C.O.

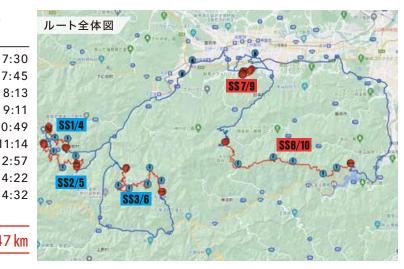
場所:群馬県・富岡市・高崎市・藤岡市・神流町・上野村・南牧村

路 面: 総走行距離 455.01 km/SS総距離 125.54 km/SS数 10 本/舗装(アスファルト)

【LEG1】6月11日(土) 天候/路面:雨/ウエット 【LEG2】6月12日(日) 天候/路面:曇り/ドライ

	/ 町田・附/ /エ/		八尺/ 叫曲・芸 // 1 / 1								
	スタート	8:00	パルク OUT	7:30							
SS1	Nostalgic Dojo I	8:58	サービスC(15min)	7:45							
SS2	South Pasture I	9:21	SS7 Zebra I	8:13							
SS3	Ghost Tunnel I	10:04	SS8 Grandma.Kimura I	9:11							
	サービスA(20min)	12:14	SS9 ZebraII	10:49							
SS4	Nostalgic Dojo II	13:57	サービスD(20min)	11:14							
SS5	South Pasture II	14:20	SS10 Grandma. Kimura ${\mathbb I}$	12:57							
SS6	Ghost Tunnel II	15:03	サービスE(10min)	14:22							
	サービスB(45min)	17:08	フィニッシュ	14:32							
	パルクフェルメ	17:53									

LEG1 Totals 268.54km LEG2 Totals 186.47 km





昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で無観客開催となったが、 今年は富岡市の群馬サファリパークを拠点に観戦ステージも設定さ れ、FIAアジア・パシフィックラリー選手権(APRC)の併開催で行 われた。雨による泥流でコースはギャップの激しい悪路条件となり、 アクシデントが続出する選手が次々と出る厳しいラリーとなった。 奴田原もSS1では3位を叩き出したが、SS2でメカニカルトラブル 発生によりデイリタイアを余儀なくされる。

マシンを修復し2日目の出走では、SS9・10で3位タイムをマーク しデイポイントを獲得した。

次戦のグラベルラリーへ向けてマシンの課題を強化して挑む。

【正式結果】JN-1 クラスリタイア/ LEG2DAY ポイント獲得(3位) エントリー 21台(JN1)/完走11台

			LEG1Sec1			LEG1Sec2		LEG2Sec3			LEG2Saul4				p	os	LEG1			LEG2		A	
NO DIVER	CO DRIVER	CLS	SSI	552	\$33	354	555	SS6	887	558	559	6510	SS	PENALTY	TUTAL	CLS	OV	TIMES	CLS	OV	TIME	CLS	0
1 Heikki Kovalaine	n 北川 赫衣	JN-1	6:37.1	12:30.4	15:55.3	5:38.2	11:33.6	15:48.5	37.2	14:52.6	33.7	14:32.0	1:39:38.6		1.39:38.6	1	1	1.09.03.1	1	1	30.35.5	1	1
3 今井聖	高橋 英悠	JN-1	224000									1000	and of the last		10000			and the same	in.	100	22.00		100
4 黄山康	竹下紀子	JN-1	7:18.0	12:03.1	17:16:0	7:21.8	12:13.6	17:28.7	38.8	16.23.1	37.9	16:20.4	1:47:41.4		1:47:41.4	- 8	9	1:13:41.2	8	9	34:00.2	12	17
6 勝田 氣彦	木村 裕介	JN-1	6:412	11:16.9	A VOY-CORY		S CHARLE	1000050	37.6	15.12.5	34.0	15:04.7	A-TARIS		100000		100	100000000000000000000000000000000000000	-	10000	31:28.8	4	4
7 福永 修	齊田 美早子	JN-1	6:42.0	11:17.7	16:10.8	6:40.2	16:11.7	16:22.5	38.4	14:55.7	33.7	14:42.9	1:44:13.6		1:44:13.6	4	4	1:13:24.9	7	7	30:48.7	2	2
8 数田原文施	東最吾	JN-1	6:39.6						37.3	15:10.7	33.9	15:00.5	5-5-10				2.31	\$2000CC	1	77	31:22.4	3	3
9 新井敷弘	田中 直載	JN-1	6:35.3						501.57	1.00													
10 異異 知志	安藤 裕一	JN-1	6.51.5	11:57.8	16:38.6	6:49.8	11:35.7	16:30.9	36.1	15:28.4	35.0	15:11.6	1:42:15.4		1:42:15.4	2	2	1:10:24.3	2	2	31:51.1	5	5
11 三枝 聖弥	石田 裕一	JN-1	6:52.0	11:51.7	16.47.5	8.51.9	11:49.7	16:38.6				Services.	143077-0		AVE. 2023		0.1	1:10:51.4	4	4		1	155
12 疑田 卓麻	松本優一	JN-1	6:46.1	12:35.5	16:24.7	6:44.8	13:08.6	16:58.0	40.7	15:05.7	34.6	17:16.8	1:46:15.5		1:46:15.5	8	6	1:12:37.7	5	5	33:37.8	II	14
13 小泉 敏志	清水 昭一	JN-1	7:02.1	12:37.8	17:32.6	7:06.7	12:20.8	17:23.5	47.1	15:42.4	34.9	15:22.7	1:46:30.6	0:10	1:46:40.6	7	7	1:14:13.5	9	10	32:27.1	7	7
14 伊藤 俊哉	立久井 大輝	JN-1	8:12.4	14:35.9	20:15.6	8:20.3	14:23.4	17:28.7	45.4	18:51.7	39.5	18:21.1	2:01:54.0		2:01:54.0	11	35	1:23:16.3	12	40	38:37.7	14	37
15 徳尾 慶太郎	石田 一郎	JN-1	7.04.6	12:16.2	16:52.4	7:06.6	12126	17:28.7	38.5	16:00.4	36.4	15:37.0	1:45.53.4		1:45:53.4	5	5	1:13:01.1	- 6	6	32.52.3	8	.9
16 HYOMA	河西 塘越	JN-1	7:15.0		See Line See Line See			20,000,000					1							1111			100
17 村田 康介	梅本 まどか	JN-1	7:132	12:48.1	17:54.0	7:13.9	12:27.1	17:28.7	36.6	16:13.0	34.6	15.52.8	1:48:22.0		1:48:22.0	9	11	1:15:05.0	10	15	33:17.0	9	12
18 松岡 孝典	坂口 慎一	JN-1			2005.			SEC. 14.54.1	33.5			LIFE GREAT	0.007/150000	100	TIT-COMMENS	122	20.	10000000	TAKE	1000	11.107:12.1423	100	100
19 石川 昌平	竹籔 英樹	JN-1	7:12.6	12:30.5					40.4	16:25.7	36.9	15:47.5									33:30.5	10	13
20 金南義樹	朴木 博剛	JN-1	7:16.2	13:12.1	18:12.2	7:30.6	13:11.1	17:28.7	40.1	17:20.8	39.9	17:01.3	1:52:33.0	0.10	1:52:43.0	10	24	1:16:50.9	11	28	35:52.1	13	31
21 柳澤 安至	加勢 直殺	JN-1	6 49 9	11:43.9	1638.0	6:58.6	11:41.6	16 432	36.2	15 17 8	36.5	15:30.4	1:42:36 1	57.2	1:42:36 1	3	3	1:10:35.2	3	3	32009	8	6

NUTAHARA Rally Team 参戦レポート



Dr. 奴田原 文雄 コメント

天候による路面コンディション悪化などによりライバル勢にもトラブル が続出するこのような時こそしっかり走り切るチーム力を備えることが 重要でしたが、残念ながらそのトラブルの 1 台になってしまい Day 1離 脱という結果になりました。Day 2 ではトラブルを修復し再出走、満足 いくタイムも出せたので開幕から続くターマック5戦はこれでひと区切 り。次戦からはグラベル2戦が始まります。マシンもグラベル仕様にな るので気持ちを切り替えチーム一丸となって挑みます。



Co.Dr. 東 駿吾 コメント

本戦はメカニカルトラブルにより、SS2の途中でリタイアという残念な 結果になりました。ライバル選手にもトラブル、リタイアが続出し、波乱 の展開となったこともあり、ラリーにおいて、走りきることの重要性を再 認識させられました。

次戦は北海道蘭越町で開催されるラリーカムイです。例年完走率が低 く、車両、クルーに厳しいラリーが予想されますが、ライバル、そして自分 自身に打ち勝って、良い結果を残せるよう、準備していきます。



【チーム体制】

車 名: ADVAN カヤバ KTMS GRヤリス

ドライバー: 奴田原 文雄 コ・ドライバー: 東 駿吾 メカニック: 山田、中沢

KTMS:濱崎、飯島、松尾

カヤバ:志村、内藤

H K S : 大竹 マネージャー: 田中

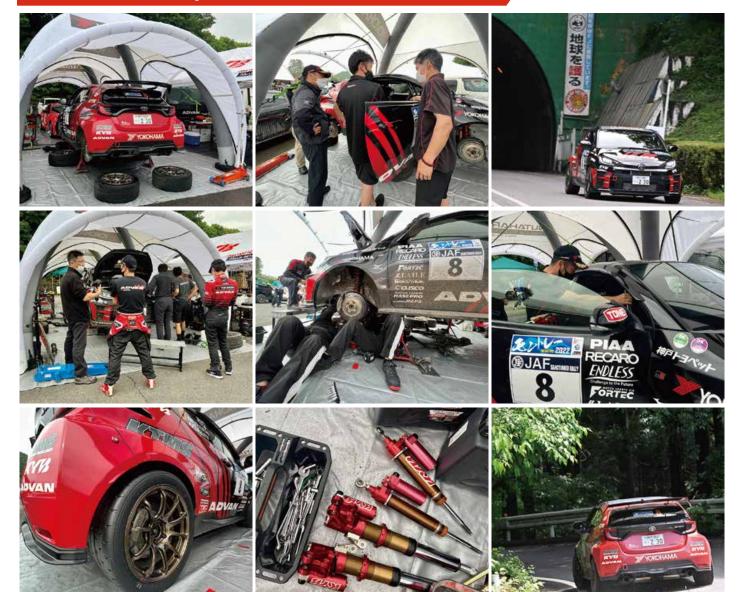






NUTAHARA Raus Team

NUTAHARA Rally Team 参戦レポート



※写真は他にもございます。必要でしたらお申し付けください。

- Special Thanks -











































